遠曙の丘

由利本荘市立子吉小学校学校だより　第23号 令和元年10月31日発行

＜教育目標＞
「心豊かでたくましく 進んで学習する子どもの育成」
～ かしこく ゆたかに たくましく ～
○主体的な学習・生活態度の育成と定着
○意欲の向上と根気強さの育成

新しい時代にさかせよう！仲間とともに感謝の花を

「新しい時代にさかせよう！仲間とともに感謝の花を」これは，１０月２６日（土）に行われた「ふるさとふれあいフェスティバル」の子どもたちが決めたテーマでした。どんな姿であれば，日頃お世話になっている家族・地域の皆様に感謝の気持ちを伝えることができるのか，子どもたちに問いかけながら一緒に考え，練習を重ねて本番を迎えました。

当日は，夜中降っていた雨が止んで朝日が差し込み，お天気も子どもたちを応援してくれているようでした。午前中の学習発表会にはたくさんの家族・地域の皆様に学校へお越しいただき，体育館のフロアも２階もいっぱいになり，子どもたちも張り切った様子でした。

プログラムはミュージッククラブの演奏から始まり，各学年の工夫を凝らした発表はどれも見応えがあり，子どもたちには堂々とした自信，かつ，発表を楽しむ余裕さえ感じられました。最後は，「全校音読・合唱」でした。手前味噌になりますが，子吉小学校の子どもたちが“One Team”になった姿で感謝の気持ちをお伝えすることができたと思っています。皆様のたくさんの拍手は，子どもたちの達成感や充実感につながりました。どうもありがとうございました。

ミュージッククラブ

3年生

2年生

1年生

4年生

5年生

6年生

全校音読・合唱の様子

楽しかったね！ ふれあいステーション

１０月２６日（土）の午後は，子吉公民館との共同開催事業となっている「ふれあいステーション」でした。今年は，「たこあげ」「ゲートボール」「なわない」「木工」「割りばし鉄砲」「竹とんぼ」「格子編み」「将棋・五目並べ」の８つの部門に分かれ，子吉地区老人クラブ，本荘たこの会，子吉ゲートボール愛好会のそれぞれの皆様にお世話になりました。１年生から６年生の子どもたち一人一人の様子や進行状況を見ながら，とても丁寧にご指導いただいたことに感謝申し上げます。

子どもたちにとって普段の学校生活では得られない貴重な体験でした。このふれあいステーションをきっかけに，視野を広げていろんなことに興味をもち，自分の活動の幅を広げてほしいものだと思っております。

ゲートボール

たこあげの時には虹が…

格子編み

将棋・五目並べ

なわない

竹とんぼ

保護者の皆様の声　（全文紹介できずすみません）

※お手紙・はがきなどありがとうございました

・フェスティバルお疲れさまでした。一人一人のセリフも多く、ちゃんと言えるかな？と心配しながら当日を迎えました。親の心配をよそに、ハキハキと大きな声で言えている姿に感心しました。そして、そんな姿を見て誇らしく、また頼もしく感じました。

・フェスティバルでは、全学年が様々な工夫をしながら一生懸命がんばる姿を楽しく見させてもらいました。２年生は一人一人が大きな声で発表し、２年生らしいかわいらしさもあり、とてもよかったと思います。〇〇は、張り切りすぎて何を言っているのか分からない感じでしたが、帰ってからたくさんほめました。来年はどんな発表・成長をみせてくれるのか楽しみです。

・低学年はかわいらしさもあり、高学年には「さすが」と思うような発表で素晴らしかったです。大勢の前では緊張してしまうのに、トラブルがあってもクラス一丸となり、乗り越えた発表に感動しました。

・フェスティバルを毎年楽しみにしていましたが、今年は格別の年になりました。本番に向けて一生懸命がんばる子どもたちの姿、先生方の指導の苦労、５・６年生の裏方の努力、フェスティバルを作り上げる大変さを目の当たりにしました。「この星に生まれて」泣いてしまいました。本当に感謝です。

・フェスティバルとても楽しく参加させていただきました。一緒に観ていた祖母も「去年より成長したね。」と喜んでいました。来年も楽しみです。

・６年生発表は勿論、全ての行動が素晴らしくて感激しました。はじめと終わりのあいさつ・司会・裏方での素早い動き･･･立派でした。他学年が発表している時の態度も、真剣かつ、心から楽しそうに観ていて素敵でした。とりを務めた発表は会場全体が大盛り上がりでした。（中略）発表から音読・合唱にかけて、６年生の成長ぶりに途中途中グッと胸がつまり、涙が出そうになりました。リーダーとして立派にがんばってくれた６年生に、そして、明るさと元気を届けてくれた１～５年生に、感謝の気持ちと大きな拍手を贈ります。